労働者災害補償保険法の適用を受ける職員の公務災害等に伴う休業補償等に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。

令和7年5月30日

函館市長 大 泉 潤

函館市規則第43号

労働者災害補償保険法の適用を受ける職員の公務災害等に伴う休業補償等に関する規則の一部を改正する規則

労働者災害補償保険法の適用を受ける職員の公務災害等に伴う休業補償等に関する規則（平成20年函館市規則第4号）の一部を次のように改正する。

第3条第2項第1号中「懲役，禁錮」を「拘禁刑」に改め，「拘置されている場合」の後ろに「もしくは留置施設に留置されて拘禁刑もしくは拘留の刑の執行を受けている場合」を加える。

附 則

- 1 この規則は，令和7年6月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前にした行為に対する刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）第2条の規定による改正前の刑法（明治40年法律第45号。以下「旧刑法」という。）第12条に規定する懲役（以下「懲役」という。），旧刑法第13条に規定する禁錮（以下「禁錮」という。）もしくは旧刑法第16条に規定する拘留（以下「旧拘留」という。）の刑の執行のため刑事施設（少年法（昭和23年法律第168号）第56条第3項の規定により少年院において刑を執行する場合における当該少年院を含む。以下同じ。）に拘置されている者または留置施設に留置されて当該行為に対する懲役，禁錮もしくは旧拘留の刑の執行を受けている者に対する改正後の第3条第2項第1号の規定の適用については，懲役もしくは禁錮または旧拘留の刑の執行のため刑事施設に拘置されている者は，それぞれ拘禁刑または拘留の刑の執行のため刑事施設に拘置されている者と，留置施設に留置さ

れて懲役もしくは禁錮または旧拘留の刑の執行を受けている者は、それぞれ留置施設に留置されて拘禁刑または拘留の刑の執行を受けている者とみなす。